

(業務名称) 業務システム運用保守業務に係る技術支援等業務(海外投融資(融資)システム業務SE)

(公告/公示日: 2024年11月1日/公告番号: 24a00544) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
国際協力調達部次長(契約担当)

| 通番 | 該当頁 | 項目 | 質問 | 回答 |
|--------|-------|------------------------------|---|---|
| 1 | P. 6 | 6. その他関連情報 (1) 2) 閲覧資料 | 他部署とのコミュニケーションをとる際、メール以外のツールを活用しているのでしょうか？(資料閲覧を受けての質問となります。) | 他部署とのコミュニケーションはメール、Teams、電話、対面にて行っています。 |
| 2 | P. 6 | 6. その他関連情報 (1) 2) 閲覧資料 | IBM社の拠点は竹橋にありますが、IBM社とコミュニケーションをとる際には竹橋まで足を運ぶのでしょうか？それともオンラインでも可能なのでしょうか？(資料閲覧を受けての質問となります。) | 例外的に対面で対応することがあるかも知れませんが、基本はオンラインによる対応になります。 |
| 3 | P. 6 | 6. その他関連情報 (1) 2) 閲覧資料 | IBM社の運用保守担当者へ行う教育と同様のものを弊社も受けることができるのでしょうか？(資料閲覧を受けての質問となります。) | IBM社の運用保守担当者にて行われる教育を提供することは想定していません。JICAからの説明と設計書等資料を読むことにより理解して頂く予定です。 |
| 4 | P. 8 | 9-2. 技術提案書内容に関するプレゼンテーションの実施 | プレゼン実施者は”本件業務の総括者”となっていますが、総括者はプロジェクトの管理責任者のことなのでしょうか？それとも現場の管理責任者を指すのでしょうか？ | 応札者によりプロジェクトの管理責任者と現場の管理責任者の役割が異なると想定しますが、委託業務において実際の現場をコントロールする方にプレゼンテーションを実施頂くことが望ましいと考えます。 |
| 説明書の訂正 | | | | |
| 通番 | 該当頁 | 項目 | 訂正前 | 訂正後 |
| 5 | P. 19 | 第2 業務仕様書(案) 9. その他 | 9. その他 受注者は、サプライチェーンリスクの増大又は顕在化の防止を目的とし、再委託先の資本関係・役員等の情報、本委託業務の実施場所、委託事業従事者の所属・専門性(情報セキュリティに係る資格・研修実績等)・実績及び国籍に関する情報を提出すること。 | 9. その他 (1) 応札制限 調達の公平性を確保するため、本調達仕様書に示す業務の受注者及び同事業者の「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第8条に規定する親会社及び子会社、同一の親会社を持つ会社並びに委託先事業者等の緊密な利害関係を有する事業者の場合は、今後調達が予定されているシステム開発など、本件業務の受注者が本調達仕様書に示す業務にて調達仕様書/業務仕様書の作成に直接関与した調達案件の入札に参加することはできない。 (2) 受注者は、サプライチェーンリスクの増大又は顕在化の防止を目的とし、再委託先の資本関係・役員等の情報、本委託業務の実施場所、委託事業従事者の所属・専門性(情報セキュリティに係る資格・研修実績等)・実績及び国籍に関する情報を提出すること。 |